

土木学会

平成 17 年度 全国大会研究討論会「研-20」、「研-21」

わが国の建設企業の海外戦略に寄せる期待

第1部：国内建設企業の海外戦略と課題（建設マネジメント委員会）

第2部：海外から見た日本建設企業の国際市場への進出（国際委員会）

平成 17 年 9 月 8 日（木）9:00-12:20

早稲田大学 西早稲田キャンパス 8号館 B-102

主催：第1部 建設マネジメント委員会

第2部 国際委員会

わが国の建設企業の海外戦略に寄せる期待

Construction Industry in 21 Century and Globalization

第1部：国内建設企業の海外戦略と課題（主催：建設マネジメント委員会）

Part 1: New Strategies of Japanese contractors apply for International Construction Market place (Organizer: Construction Management Committee)

<研-20 9月8日(木) 9:00~10:30 8号館 B-102>

第2部：海外から見た日本建設企業の国際市場への進出（主催：国際委員会）

Part 2: New Strategies of International Contractors into the Global Market
(Organizer: International Activities Committee)

<研-21 9月8日(木) 10:50~12:20 8号館 B-102>

国内の建設関連投資は縮小傾向にあるが、海外での投資は特に経済成長の著しいアジア諸国で伸びており、これらをターゲットにわが国の建設企業の海外進出が近年盛んになっている。一方、国際市場で活躍できる人材が不足していることや国際市場でのビジネス慣行、企業文化へ順応できないことなどから依然として苦戦が続いており、国際競争力が十分であるとは言えない現状である。これらをふまえて各社は国際競争に勝って利益を確保しようとする総合的海外戦略を立案し挑戦している。各社の受注戦略、マネジメントシステム、コスト競争力とクレーム戦術、人材の育成など、国際プロジェクトにおいて成功するための海外戦略を国内、海外各企業の国際部門で活躍する技術者を招き、建設マネジメント委員会と国際委員会との共同開催による2部構成にて討論を行う。

In these days, while the volume of investments to Japanese construction companies have been decreasing, that to construction companies in overseas, especially the other Asian countries, increasing. Witnessing this trend of investment, Japanese construction companies have been trying developing their businesses into the Asian countries. However, due to the lack of well-trained, skilled engineers who can respond to the demands of a wider market and engineers' difficulties to adjust to different corporate culture, the Japanese construction companies have not obtained access to the global market yet. In order to overcome these drawbacks, each of them is devising their own business strategy for successful overseas operation.

The Construction Committee and International Committee of JSCE will discuss with the guest engineers who actively involve in overseas projects in the international sections of their own companies, about successful management system and global strategies in order to handle business contracts, winning a bid, handling claims and human resources development programs.

第1部：国内建設企業の海外戦略と課題

Part 1: New Strategies of Japanese contractors apply for International Construction Market place

国内建設企業の役員クラスをパネラーに招き、各企業の海外戦略や、プロジェクト遂行におけるリスクや障害にはどのようなものがあるのか、国内から見た国際市場への進出における問題点などについて討論する。

General Managers in international divisions of 4 major Japanese contractors will exchange their views on the overseas activities and strategies for expanding business into the global market. The managing director of The Overseas Construction Association of Japan, Inc. will introduce the present activities of Japanese contractors in the international market.

<第1部>

座長：草柳俊二（高知工科大学 工学部システム工学科 教授）

Moderator：Dr. Shunji KUSAYANAGI (Professor Kochi University of Technology)

話題提供者：1. 富瀬 南 ((社) 海外建設協会 専務理事)

Panelists: Mr. Minami TOMISE

(The managing director .The Overseas Construction Association of Japan, Inc)

2. 高橋 修 (日本工営 (株) 代表取締役社長 <土木学会国際委員会委員長>)

Mr. Osamu TAKAHASHI (President of NIPPON KOEI)

3. 京野 忠 (清水建設 (株) 海外土木支店 副支店長)

Mr. Tadashi KYONO (Deputy Director Overseas Civil Engineering Div., Shimizu Corporation)

4. 田嶋 弘志 (鹿島建設 (株) 海外支店 副支店長)

Mr. Hiroshi TAJIMA (Deputy General Manager overseas branch Kajima Corporation)

5. 傳 暁 (大成建設 (株) 国際支店 土木管理部長)

Mr. Akira THUTAE (General Manager Civil Engineering Administration Dept. International Division Taisei Corporation)

6. 丸山 哲郎 ((株) 大林組 海外土木事業部 海外土木第四部 部長)

Mr. Teturo MARUYAMA (General Manager. Overseas Civil Engineering Construction Dept.Obayashi Corporation)

草柳 俊二

高知工科大学 社会システム工学科 教授

(株)建設企画コンサルタント、
日本工営(株)技術顧問、武蔵工業大学客員教授、
工学博士(東京大学)、
土木学会 フェロー会員
土木学会 特別上級技術者(建設マネジメント)



1967年 武蔵工業大学 工学部土木工学科卒業。

1967年 大成建設株式会社に入社。入社後、主として国内都市土木プロジェクトに従事した後、1974年よりインドネシア、ナイジェリア、インド、コロンビア等の国際プロジェクトに従事。1980年から1981年の間に、米国企業にてプロジェクトマネジメントに関する研究に従事。1986年より本社国際事業本部にて契約管理部プロジェクト室長、土木部技術室長、土木部長、営業統括部長、国際事業本部 本部次長を歴任 2000年9月に退社。

1996年 土木学会論文賞受賞。論文名「国際建設プロジェクトのマネジメントに関する研究」

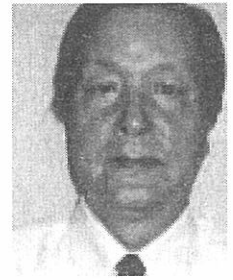
著書

「21世紀型建設産業の理論と実践 ―国際建設プロジェクトマネジメントの実践―」
(株)山海堂

「若き挑戦者たち」共著 土木学会マネジメント教育委員会

プロフィール

(社)海外建設協会
専務理事 富瀬 南



昭和38年(1963年)早稲田大学第一理工学部土木工学科を卒業し、鹿島建設に入社。3年間本社の見積部などに配属後、ダムやシーバースなどの現場を経験し、昭和45年(1970年)に初めて海外勤務としてシンガポールに赴任した。当時はまだ海外工事に従事することが珍しかった時代である。

当時は造船ブームであり、日本からも石川島、日立造船、三菱重工などがシンガポールに次々と造船所を建設し、これらのプロジェクトの受注によりドックや岸壁工事の仕事が多かった。海外工事のはしりともいえるこれらのプロジェクトでは、海外経験保有の先輩も多くいなかったことから30歳そこそこで工務主任として所長のもとで技術系のトップとしての重責を担わされた。造船所の経験を買われて、現地企業のケッペル造船所から新規に建設するドック工事に入札参加の誘いがあり入手することが出来た。しかしこのプロジェクトは発注者は現地企業、コンサルタントはイギリスと、日本色が全くないもので、いきなり契約社会に放り込まれた。これは自分達で勉強していくより方法はなく、まさにOJTのようなものであったが、それだけに実践で学んでいったことが強く身につけていった。工事終了時には契約書はボロボロであった。造船所のプロジェクトが一段落し、その後は政府の公共工事なども手がけていった。これらの工事を遂行していくうえで、契約に対する知識が非常に役立った。また35歳程度で70~80億円の工事所長を経験できたのは幸運であり、困難に立ち向かうにも十分な体力とフレキシビリティがあった時代である。1983年から87年までスリランカに移り、コロポドック工事と国際空港の滑走路工事を所長として完成させた。コンサルタントもイギリス、オランダなどで、これらも全く日本色のないプロジェクトであった。しかも初めて進出する国であり苦労も多かったが、シンガポールでの経験が生きた。92年からは日本に戻り、土木部長として海外の土木全般をみるようになったが、世界各地で様々な問題があり、気の休まる暇がなかったことを覚えている。

94年からは海外事業本部の副本部長兼土木部長として国内勤務をした後、99年には(社)海外建設協会に移り現在に至っている。

協会に移ってからは、建設企業の支援業務を中心に活動しているが、セミナー開催などにより海外要員や、プロマネの養成を図っている。また日本人の弱いとされる契約管理やクレーム手法の向上を図るべく、契約関連の研究会を中心に会員向けのテキスト発刊など、同じ轍を踏まないよう建設企業全体の海外展開に資するための資料も整備している。また、アジア・西太平洋建設業協会国際連盟(IFAWPCA)などを通じて各国の建設協会との交流も深めている。国内の建設投資の縮小、新たな市場への進出などを睨み、各建設企業の海外進出に拍車がかかっており、協会の役割もさらに重要度が増してきている。

プロフィール

たか はし おさむ
高 橋 修

昭和 41 年 東京大学工学部土木工学科卒業

昭和 41 年 日本工営株式会社入社

平成 16 年 日本工営株式会社代表取締役社長

社団法人電力土木技術協会理事

社団法人建設コンサルタンツ協会理事

社団法人海外コンサルティング企業協会副会長

社団法人日本経済団体連合会評議員

社団法人土木学会理事、フェロー会員

技術士(建設部門/電力土木、総合管理部門)



きよの だし
京野 忠

Email: t_kyono@shimz.co.jp

- 生年月日： 1947年3月25日
- 血液型： O型
- 出身地： 秋田県横手市
- 出身校： 東北大学工学部土木工学科卒
- 趣味： ゴルフ、スキー

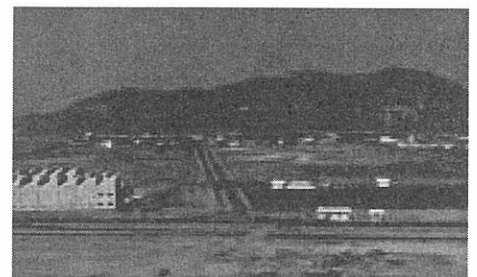


● プロフィール

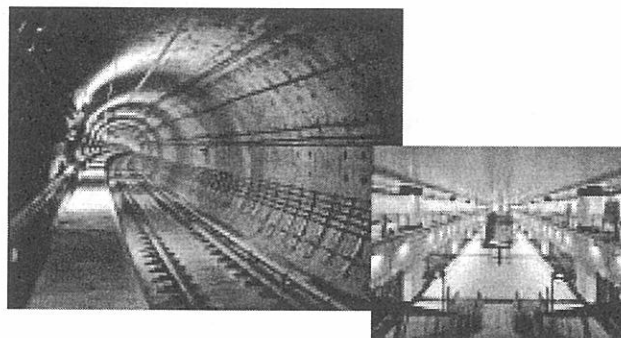
1970年清水建設入社後、1973年から海外土木事業に従事し、これまでシンガポール、バングラデシュ、香港、インド、ガーナ、マレーシアの6カ国で大型土木工事をプロマネとして担当。また、1998年より、海外土木の施工責任者となり、優れた人材育成にも力を注ぐ。現在は同支店副支店長であり、今年4月、シンガポールに新設された生産支援センターを統括しながら、同国をベースに世界中の現場を巡回指導に当たっている。



マレーシアーシンガポール第2連絡橋



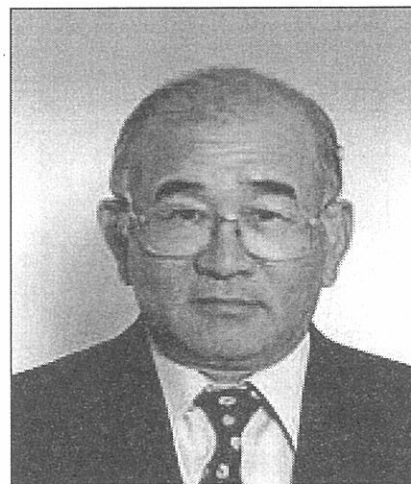
ナバシバ港 (インド)



地下鉄北東線710工区 (シンガポール)

略 歴 書

氏名 たじま ひろし 田嶋 弘志	年齢 59歳	性別 男
	入社年月日 1969年4月1日	勤続 36年
種別 土木	出身地 東京都	
本務 鹿島建設(株) 海外支店 副支店長		



学歴学位 早稲田大学 理工学部 土木工学科卒業(1969年3月)

異動経歴				
経歴	勤務地			
1969/4/1-	東京		本社・土木設計部	
1975/4/1-	シンガポール	国際事業本部	シンガポール出張所	
1978/12/1-	シンガポール	国際事業本部	シンガポール・ウルパンダン汚水処理場増設工事	
1983/12/01-	シンガポール	国際事業本部	シンガポール・MRTJV工事	
1986/10/1-	東京	国際事業本部	土木部	
1988/07/01-	英国	KAJIMA EUROPE B.V		JGM
1994/1/1-	海外駐在	海外事業本部	営業部	部長
1994/10/9-	海外駐在	開発事業本部	海外事業部	部長
1994/11/10-	米国(ハワイ)	K.K.CO		ExecutiveVicePresident
1996/11/10-	米国	K.E.C		President & CEO
2003/05/01-	東京	海外事業本部		副本部長
2005/6/29-現在	東京	海外支店		副支店長



傳 暁

TSUTAE Satoru

フェロー会員

現職:

大成建設株式会社 国際支店 土木管理部長

経歴:

1976年 北海道大学工学部土木工学科卒
1976年 大成建設株式会社入社
1983～84年 サウジアラビア国にて建設工事勤務
1985～87年 米国コーネル大学大学院修士課程修了
1987～88年 インドネシア国にて建設工事勤務
1995～99年 パキスタン国にて建設工事勤務
現在に至る。

資格:

技術士

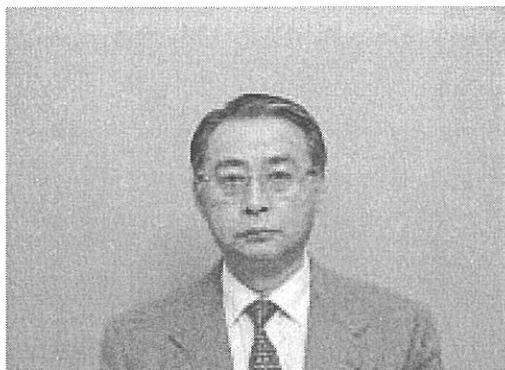
APEC エンジニア

特別上級技術者

PMP(米国プロジェクトマネジメント協会)

アソシエイト(英国仲裁人協会)

<大林組・丸山プロフィール>



氏名	丸山 哲郎
所属	大林組 海外土木事業部 海外土木第四部 部長
生年月日	1949年2月4日生
出身地	千葉県市川市
現住所	神奈川県横浜市青葉区

<略歴>

経験年数	34年
海外経験年数	27年
海外勤務年数	20年
1971年	日本大学工学部土木工学科卒業
1971年	(株)大林組入社
1971年～1975年	国内・中央高速道路現場勤務
1976年～1977年	バングラディッシュ国・シタラキヤ橋梁現場勤務
1981年～1987年	タイ王国・バンコク高速道路土木主任
1989年～1992年	タイ王国・ラマ7世橋所長代理
1993年～1998年	カンボジア王国・日本橋所長
2000年～2002年	台湾・台湾新幹線C215工区所長
2003年～現在	海外土木事業部・第四部部長

第2部：海外から見た日本建設企業の国際市場への進出

Part 2: New Strategies of International Contractors into the Global Market

国外の建設企業からパネラーを招き、第1部で討論された国際市場への進出における課題（海外戦略、リスク・障害など）に対して、既に国際市場で活躍している立場として、海外から見た日本企業の国際進出について討論する。

Panelists will be invited from 3 major construction companies from EU and Asia, which have participated in global competition. The panelists will discuss on the issues raised in Part 1 from their points of view. The moderator of Part 1 and general manager of The Japan Bank for International Cooperation (JBIC) will also join the discussion and present their views.

<第2部>

座長：角川浩二（埼玉大学 工学部建設工学科 教授）

Moderator：Dr. Koji TSUNOKAWA (Professor Saitama University)

話題提供者：1. ユルゲン・リンデマン（ホフティフ（独）国際事業本部長付き顧問）

Panelists：Mr. Jurgen LINDEMANN

(Advisor to the Management, HOCHTIFE Germany)

2. ペア・ホフダンダー（スカンスカ（スウェーデン）国際事業本部長付き顧問）

Mr. Per HOFVANDER

(President, SKANSKA International AB, Sweden. Board member of a Construction Company in India, ITD Cementation India Limited, SKANSKA Sweden)

3. ヤン・ナム・リー（ヒュンダイ（韓）副社長 技術研究所所長）

Dr. Yaung Nam Lee (Senior Executive Vice President. Institute of Construction Technology. HYUNDAI Korea)

4. 草柳俊二（高知工科大学 教授 <第1部から引き続き参加>）

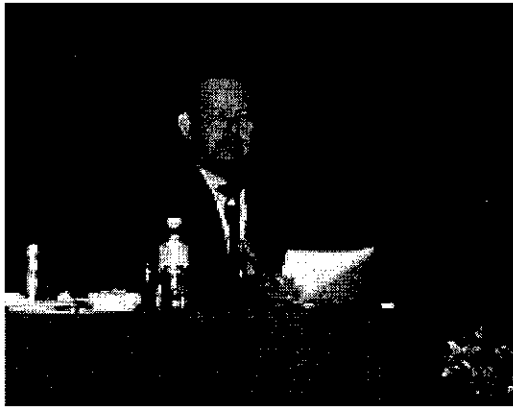
Dr. Shunji KUSAYANAGI (Professor Kochi University of Technology)

5. 青木桂一（国際協力銀行 開発セクター部 次長 兼2班課長）

Mr. Keiichi AOKI

(Deputy Director General and Director Division 2

Sector Strategy Development Department Japan Bank for International Cooperation)



Koji Tsunokawa, Ph.D.

Education:

- PhD – Graduate School of Civil Engineering, Northwestern University
- Engineer's Degree – Graduate School of Civil Engineering, Massachusetts Institute of Technology
- Master's Degree – Graduate School of Civil Engineering, University of Tokyo
- Bachelor's Degree – Faculty of Engineering, University of Tokyo

Professional Affiliations:

- Secretary General, International Activities Committee, Japan Society of Civil Engineers
- Section Chair for Transportation Research, Japan Society for International Development
- Member of International Activities Committee, Transportation Research Board

Present Positions:

- Professor and Head of Foreign Student Office for Special Graduate Program for International Students, Department of Civil and Environmental Engineering, Saitama University

Previous Employment:

- Deputy Managing Director, Operations Department 3, The Overseas Economic Cooperation Fund
- Senior Transport Specialist, ECA/MNA Technical Department, The World Bank
- Highway Engineer, Transportation, Water and Urban Development Department, The World Bank
- Director of Monitoring and Planning, Operations Evaluation Department, The Overseas Economic Cooperation Fund

CURRICULUM VITAE

Name: LINDEMANN, Juergen
Date / Place of birth: 07th May, 1944 / Kellinghusen, Germany
Nationality: German
Occupation: Civil Engineer
Family Status: married, 3 children



Employment record:

1964 - 1967 **Engineering Degree**
Academy for Engineering,
Berlin, Germany

1967 - 1970 **Consulting Engineers Penther**, Berlin, Germany
Design, Structural Analysis, Consulting Engineers

1970 **joined: Philipp Holzmann AG**, Overseas Department

1970 - 1972: **Engineer**
Construction of a hospital at Military Cantonment
Tabuk, Saudi Arabia
Employer: U.S. Army
Engineering Division
Mediterranean Corps of Engineers
Camp Darby, Tirrenia, Italy
Contract Value: DM 231 Mio

1972 - 1973: **Site Manager**
Armoured Schools, Taif, Saudi Arabia
Employer: Cofras, Paris
Consulting Engineers: Condas
International S.A.L., Paris
Contract Value: DM 14 Mio

- 1974 – 1976:** **Site Manager**
Irrigation Project Joufrah, Fezzan Region, Libya
Employer: Council of Agricultural Development,
 Tripolis
 Contract Value: DM 146 Mio
- 1977 – 1978:** **Site Manager**
Construction of Breakwaters, Benghazi, Libya
Employer: Armed Forces Military Works
 and Property Dept.
 Consulting Engineers: Posford,
 Paszkowski Ltd., London
 Contract Value: DM 252 Mio
- 1978 – 1981:** **Site Manager**
Housing Compound for 2 Brigades
1800 Apartments, 5 Area & Brigade Commander Quarters,
18 regional Heating & Cooling Plants, Tabuk, Saudi Arabia
Construction of Red Sea Port Sharma
Employer: Ministry of Defence and Aviation, Riyadh
 Consulting Engineer: Frank E. Basil Inc., Athena
 Contract Value: DM 2,074 Mio
- 1982 – 1989:** **Project Management**
Overseas Department, Head Office, Frankfurt, Germany
- 1989 – 1998:** **Director Overseas Department**
General Power of Attorney for
Philip Holzmann AG
left Philip Holzmann AG on own desire
- 1999 – to date:** **self-employed: Lindemann Consulting**
working exclusively for HOCHTIEF AG, Essen, Germany

Curriculum Vitae

Per Hofvander

PERSONAL DATA:

Date of birth: December 17, 1943
Nationality: Swedish
Languages: Swedish, English
Years of experience: 36



EDUCATION:

Year of graduation: 1968
School/course: Chalmers University of Technology, Gothenburg, M.Sc. (Civ.Eng.)

PRESENT POSITION: President Skanska International AB
Boardmember ITD Cementation India Ltd

AFFILIATIONS: Registered Professional Engineer, Sweden
Association of Professional Engineers, Ontario, Canada
American Society of Civil Engineers, USA

EMPLOYMENT RECORD:

2001-Present **President**
Skanska International AB (a wholly-owned subsidiary of Skanska).

2001-2003 **Director of Business Development**
BU Skanska International, (one of eleven business units within Skanska).

1998-2001 **Director of Business Development**
Skanska Europe AB (a wholly-owned subsidiary of Skanska).

1991-1998 **President**
Skanska International Civil Engineering AB (a wholly owned subsidiary of Skanska)

1988-1991 **Executive Vice President**
Foundation Company of Canada Limited (partly owned by Skanska).
Responsible for all international projects.

Curriculum Vitae

Per Hofvander (cont.)

- 1989 **President**
Foundation Company Inc. (a US subsidiary to the Foundation Company of Canada).
- 1982-1987 **Vice President**
Foundation Company of Canada Limited (partly owned by Skanska). Responsible for overall management and administration of overseas civil engineering projects
- 1980-1981 **Manager of operations**
Foundation Company of Canada Limited (partly owned by Skanska). Responsible for overall management and administration of civil engineering projects.
- 1977-1979 **Production Manager**
Skanska International Civil Engineering AB
Pattani Multipurpose Project, Thailand
- 1973-1977 **Assistant Project Manager**
Skanska International Civil Engineering AB
Geovexin Underground Gas Storage Plant, Paris, France
- 1973 **Contract Engineer**
Skanska head office, Stockholm, Sweden
- 1972 **Section Chief**
Skanska International Civil Engineering AB
Kidatu Hydroelectric Power Development, Tanzania.
- 1969-1971 **Assistant Project Manager**
Skanska, Himmerfjärden Sewage Tunnel System, Stockholm
- 1968 **Superintendent**
Skanska, Exploration works, Stockholm

CURRICULUM VITAE



NAME : Lee, Young-Nam(李 英男)

EDUCATION : Ph.D in Civil Engineering(Geotechnical Engineering), University of

Western Ontario, Canada, 1988

M.Eng. in Civil Engineering(Geotechnical Engineering), Asian

Institute of Technology, Bangkok, Thailand, 1978

B.Eng. in Civil Engineering, Hanyang, Univ., Seoul, Korea, 1974

EMPLOYMENT RECORD

1979 - PRESENT Hyundai Engineering & Construction Co., Ltd.(HDEC)

Currently working as Director of Research Institute in HDEC and

managing R&D in civil, architectural and environmental

engineering fields.

Previously worked for Design Section for Overseas Civil Engineering

Division for the first 10 years.

1978 - 1979 Geosciences

S

Performed geotechnical investigation for Kori Nuclear Power Plant,

Unit 2

AFFILIATED SOCIETY

S

草柳 俊二

高知工科大学 社会システム工学科 教授

(株) 建設企画コンサルタント、
日本工営 (株) 技術顧問、武蔵工業大学客員教授、
工学博士 (東京大学)、
土木学会 フェロー会員
土木学会 特別上級技術者 (建設マネジメント)



1967年 武蔵工業大学 工学部土木工学科卒業。

1967年 大成建設株式会社に入社。入社後、主として国内都市土木プロジェクトに従事した後、1974年よりインドネシア、ナイジェリア、インド、コロンビア等の国際プロジェクトに従事。1980年から1981年の間に、米国企業にてプロジェクトマネジメントに関する研究に従事。1986年より本社国際事業本部にて契約管理部プロジェクト室長、土木部技術室長、土木部長、営業統括部長、国際事業本部 本部次長を歴任 2000年9月に退社。

1996年 土木学会論文賞受賞。論文名「国際建設プロジェクトのマネジメントに関する研究」

著書

「21世紀型建設産業の理論と実践 —国際建設プロジェクトマネジメントの実践—」
 (株)山海堂

「若き挑戦者たち」共著 土木学会マネジメント教育委員会

青木 桂一

国際協力銀行 開発セクター部 次長・2班課長兼務

1978年 北海道大学大学院 工学研究科交通工学 修了



1978年 旧日本国有鉄道に入社、入社後、主として建設部門に従事し、現場としては東北新幹線盛岡駅区間建設工事と福岡市地下鉄博多駅区間建設工事に、その他は、本社構造物設計事務所にてコンクリート構造物の設計に従事した。後、フランス国費留学（PC橋がテーマ）を機に1987年に海外経済協力基金（OECD）に転職し、主に東南アジアを担当し、マニラとクアラルンプールに駐在した。東南アジア以外では、債権管理と情報システム部門の間接部門を歴任の他、インドと中国の鉄道事業とイランの水力発電所事業の審査に従事した。2005年4月から現職に就いてからは、兼務である電力・通信・鉱工業担当課長としてベトナム電力セクター調査セミナーとパラグアイ水力発電所事業審査に関与した。

1982年 土木学会吉田研究奨励金授与。論文名「鉄筋コンクリート橋脚のせん断補強およびじん性に関する研究」

著書

「マイコンプログラム集」（1984） 理工図書